

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部 土木局 河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 (主幹兼治水係長)	窪田 彰 小西 克彦	内線	4408 (4437)
------	--------------------	---------------------	---------------------	---------------	----	----------------

事業種目	河川事業	事業名	事業区間	総事業費	27.4 億円	
		志筑川水系 志筑川 広域基幹河川改修事業	淡路市志筑～ 淡路市中田	内用地補償費	6.2 億円	
所在地				事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
淡路市志筑				H18	H18	H22
事業目的			事業内容			
<p>当該河川では、平成15年8月の台風10号、平成16年9月の台風21号、10月の台風23号により市街地において浸水被害が発生している。このため志筑川から宝珠川への放水路を中心とした河川改修を実施し、台風23号の浸水被害を防止し、地域住民が安全安心に生活できる環境を確保する。</p>			<p>計画流量 180m<sup>3</sup>/s 治水安全度 1/50                      実施内容 L = 4,630m                      (志筑川2,600m、宝珠川1,250m、放水路780m)                      掘削110,100m<sup>3</sup>、護岸18,600m<sup>2</sup>、                      橋梁7橋、井堰3基等                      〔負担割合 国:1/2 ,県: 1/2〕</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	<p>志筑川本川は人家連担のため未整備のまま残されており、当該区間の現況流下能力は10m<sup>3</sup>/s程度で、計画流量の10%程度と極めて低く、平成15年8月の台風10号により床上浸水8戸、床下浸水38戸、平成16年9月の台風21号により床上浸水23戸、床下浸水52戸、平成16年10月の台風23号において床上浸水192戸、床下浸水175戸と度重なる浸水被害に見舞われている。                      このため、家屋等の浸水被害を防止し地域住民が安全で安心して生活できる環境を確保する必要がある。</p>					
(2)有効性・効率性	<p>志筑川本川の下流部は、人家が連担する市街地で、河道拡幅による流下能力の増加が困難であるため、当該区間の上流より支川宝珠川へ放水路を開削することにより短期間で効率的な整備を行うことができる。                      また宝珠川については放水路計画（治水安全度1/50）に基づき河道拡幅が過年度に実施されており、基本的に河床掘削を行うことで流下能力の増大が可能である。                      また、改修による治水安全度向上に対する地元要望が強いことから、円滑な事業執行が可能である。費用便益比 B / C = 26.5</p>					
(3)環境適合性	<p>護岸には植生が定着し得る環境保全型ブロックを使用するなど、環境及び景観に配慮した構造としている。</p>					
(4)優先性	<p>近年度重なる浸水被害が発生している当河川は、抜本的な河川改修に着手する必要がある。                      なお支川宝珠川では小規模河川改修事業及び災害復旧助成事業により過年度改修が実施されている。</p>					